

2013年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2013年12月26日 環境管理責任者 白井 佳子

	目 標	結 果	実 施 状 況	評 価	原 因	改 善 策
地球温暖化防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量 2012年比1%減 電灯 10,100kWh エアコン 5,510kWh 合計 15,610kWh ガソリン使用量 2012年実績を維持 768L 二酸化炭素排出量 9919.3kg-CO₂ (2012年実績) 	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量実績 2012年比 5.6%減 電灯 9,199kWh エアコン 5,678kWh 合計 14,877kWh ガソリン使用量実績 2012年比7%増 825L 二酸化炭素排出量実績 9591.9kg-CO₂ (2012年実績より3%減) 	<ul style="list-style-type: none"> 空調設定の効率化及び温度設定の徹底(夏28℃/冬21℃) 昼休み(12:00~13:00)事務所内消灯の徹底 クールビズの早期開始・終了延長(5/16~10/15) 週休2日制導入 効率の良いルートでの外出・関与先訪問 自動集金率向上により訪問集金が減少(全体の7割) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識向上、効率のいい空調温度設定及びこまめな消灯に努力し減少につながった クールビズを延長することにより、職員の夏期電気使用量減少に対する意識を維持できた 人員増加による出張先距離の増加 職員の節電への意識向上等により使用電力減少に伴い二酸化炭素排出量減 	<ul style="list-style-type: none"> クールビズの推進・延長 屋内・屋外の気温測定 空調温度の管理の再徹底(夏28℃/冬21℃) 業務効率化をはかり使用量削減を目指す 6月~12月は月2回のノ残業デーを実施(2014年は月1回) 効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛ける 再認識したエコ運転を実践していく
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物量 2012年比1%減 処分 232.0kg リサイクル 201.0kg 合計 433kg 紙使用量 2012年比1%減 296kg 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物量実績 2012年比6%増 処分 157.3kg リサイクル 307.5kg 合計 464.8kg 紙使用量実績 2012年比0.62%増 306.9kg 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミ買取業者を利用することにより資源ゴミ分別の意識向上 不要商品カタログを引取ってもらった 両面コピーや裏紙使用の徹底(電子申告による紙量削減は大きい確認事項が多いためデータ送信の前にプリントアウトして確認しているのが現状) 	△	<ul style="list-style-type: none"> 不要なメモ紙や紙類ゴミも極力シュレッダーや古紙としてリサイクルするという意識向上がみられた 備品購入先の不要な商品カタログ引取サービスを利用 職員が飲むお茶を粉茶にして生ゴミを減少 扱う資料も機密的なものが多くコピーをとる必要もあり、コピー用紙使用量減少は難しいが現状維持を心掛ける 	<ul style="list-style-type: none"> 不要な紙類は、シュレッダー等を利用して極力資源ゴミとしていく 不要なDMやカタログの返却・拒否 職員は生ゴミ削減のため粉茶を使う ペーパーレス業務の推進 パソコンからの不要なプリントアウトを控える 裏紙使用・両面コピー再徹底
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページにてエコアクションの情報を発信 グリーン商品購入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なテーマに変更 個性が出て、とても分かりやすい内容になった グリーン商品購入金額の割合 月平均64% 	<ul style="list-style-type: none"> 各職員が「エコ運転」をテーマに日頃乗っている車で環境を考えた 購入する際に、グリーンマークを意識するようになった 	○	<ul style="list-style-type: none"> テーマを身近なものにしたことによりエコ運転・安全運転を再認識できた 購入先業者が毎月購入実績を知らせてくれるサービスを利用 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく 全員参加を目標とする 今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい

平成24年度中部電力の実排出係数0.516 kg-CO₂/kWhを適用(平成25年12月19日 環境省公表)